

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

## 明德乳児保育所

〒232-0008 横浜市南区庚台 48

運営主体：社会福祉法人 明德福祉会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類別評価結果	5～13 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	14～20 ページ
利用者本人調査分析	21～22 ページ
事業者意見	23 ページ

2007年5月17日 公表

評価機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	社会福祉法人 明德福祉会 明德乳児保育所		
報告書作成日	2007年4月23日	評価に要した期間	約5ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

## 評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:06年11月15日 ~07年1月4日</p>	<p>春に、法人3園で、第三者評価受審に向けての勉強会を立ち上げ、園の第三者評価の担当者を決めた。その上で、園の全職員で、何度か自己評価票に記入を行うなど勉強を進めた。非常勤職員を含む全職員が、個別に自己評価票に記入した。各職員が個別に記入した自己評価票を元に、園の全職員で会議を開き、確認および意見交換を行い合意した。最終的には担当者、園長が協議しながら一項目ずつ確認し、評価をまとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:06年11月25日 ~12月16日</p>	<p>全利用者（園児）の保護者（38家族）へ、事業者（園）から手渡し。 各保護者より、同封の返送用封筒にて評価機関宛、無記名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 07年2月16日 第2日 07年2月19日</p>	<p>第1日午前中は、各クラスの保育観察。昼食の様子を観察後、食事は別室で試食をいただいた。午後は書類調査と保育観察、および園長・主任に面接調査を実施した。 第2日午前中は、各クラスの保育観察と、書類調査。昼食の様子を観察後、食事は別室で試食をいただいた。午後は書類調査と保育観察および栄養士、看護師、各クラスリーダー3名に面接調査。その後、園長・主任に面接調査と意見交換を実施した。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 07年2月16日 第2日 07年2月19日</p>	<p>観察調査は、園内および戸外（園庭・公園・散歩に同行）にて実施。 当保育所は0~2歳児の乳児のみの保育を行っていますので、利用者本人の聞き取り調査は実施せず、保育観察のみ行いました。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

京急「南太田」駅より7分、平戸桜木道路より一本奥に入った住宅街の一角にある、鉄筋コンクリート2階建ての建物が明德乳児保育所です。1階は事務所兼園長室と0歳児クラス、2階に1歳児、2歳児クラスがあります。乳児（0、1、2歳児）クラスのみで定員は36人です。

保育所の前身は、昭和35年(1960年)に横浜で最初の24時間型託児所としてできた「明德診療所赤ちゃんクラブ」です。その後、診療所は「清水ヶ丘病院」として移転し、昭和49年(1974年)に「社会福祉法人 明德会」として設立認可を受け、今の「明德乳児保育所」となりました。40年以上、この場所で保育所を営んできた歴史があります。

建物は築47年と古く、使い勝手も不便ですが、建て直しを検討中で、完成後は就学前までの保育を予定しています。同法人では、平成14年(2002年)に明德釜利谷保育園を、平成18年(2006年)に明德二俣川保育園をそれぞれ開園し、現在、3つの保育園を運営しています。

### 高く評価できる点

#### 1、子ども達は保育士に温かく見守られ、大切に育てられています。

乳児期のみ少人数の保育をしており、3クラスとも保育士が手厚く配置されています。0歳児には豊富な言葉かけを行い、1歳児・2歳児にも自立に向けつつ丁寧に関わっています。親と離れる時、導入保育の時、散歩で疲れた時、けんかをした時、体調が悪い時など、子どもたちは必要な時に必要なだけ抱っこ・おんぶされています。

排泄も一人ひとりのペースに合わせ、丁寧に清潔に処置をしています。食事子どもに合わせて量を調節し、保育士の声かけのもと、子ども同士が楽しく食べられるような配慮がされています。子どもたちがおもちゃの取り合いをしても、保育士にきちんと聞いてもらい、思いを代弁してもらうことで、落ち着きを取り戻し、泣き止んでいます。どの子どもも保育士に温かく見守られ、大切にされ、安心して遊び、生活をしています。

“生きる力を育てる”こととは、安心して自信を持てること」という園の方針に沿って、子どもたちは人としての土台づくりの時期を過ごしています。

#### 2、園長の長い経験と指導力に加え、職員の強い連携のもと、改善が進んでいます。

職員会議記録には、「保育がマンネリにならないよう」「(子どもは)愛がなければ生きていけない」など、ポイントを押さえた園長の言葉や指導が多く記録され、園長の長い経験と重みのある信念が、園の保育や運営を支え、貫いていることがうかがえます。保育の現場では職員相互の連携の良さが各所に見られ、主任やクラスリーダーを中心とした職員のコミュニケーションづくりの成果が見られます。

建物は築後47年がたち、不便が多く目につきますが、職員全員の努力で子どもの安全を守り、きびきびとした気持ちの良い動きで、清潔で衛生的な環境づくりが進んでいます。また、このたびの第三者評価への取り組みで、これまで伝統的に続けられてきた運営の流れや保育内容を問い直し、見直す作業を積み重ねました。その結果、職員の意識が変わり、自分のクラスだけでなく全体を見ることができるようになり、職員会議を充実させ、コーナー保育を子どもの姿を観察しながら改善していくなど、意欲的に改善を進めています。

## 独自に取り組んでいる点

### 1、保育・個人情報の IT 化と法人 3 園をつなぐ電子決済システム

法人 3 園をつなぐネットワークを組み、電子決済システムを導入しています。これによって保育士からの各種報告や保護者からの要望などの報告が、保育士、主任、園長、理事長へと迅速に行われています。3 園共通の様式を使い、保育内容・個人情報の IT 化を推進することで、職員間の情報共有と事務処理の効率化に役立てています。子どもたちに関わる各種の情報（指導計画・面談記録・健康記録など）をデータ登録し、個人データは園ごとに、職員誰もが必要な時に必要な情報を見ることができ、保育に反映させることができます。システムが職員全員に定着するまでには、もうしばらく時間が必要のようですが、保育や運営に及ぼす影響に加え、ペーパーレスによるコスト削減など、注目すべき取り組みです。

## 改善や工夫が望まれる点

### 1、ハード面の改善を

建物は 3 箇所の出入り口に分かれており、0 歳児クラスと 1、2 歳児クラスの行き来は外階段を使います。3 階の厨房から、午前のおやつ・昼食・午後のおやつ・夕方の補食と、日常の食事運搬は外階段を使って行っています。また、1、2 歳児クラスのトイレと手洗場は兼用で、トイレの数も不足しており、臭いの気になる時間帯があるなど、構造上の不便さが目につきます。長年、職員の努力でカバーされてきていますが、子どもたちや職員の安全を確保し、より良い保育環境を保障するためにも、ハード面の根本的な改善が望まれます。

### 2、計画的な人材育成と、より開かれた組織運営を

職員と保護者との子どもに関する情報交換は十分に行われており、今回の第三者評価の取り組みで書類も整い、運営全般にわたっての見直しが行われました。今後、マニュアルは園独自のものを作成し、全員で見直しを行い、日常的に活用していくことが望まれます。

必要な人材を補充し、職員の資質向上に向けた取り組みは充分行われていますが、今後は、園の理念・方針に沿った人材育成計画の策定と、それに沿った職員研修計画や主任クラスの育成プログラムの作成が望まれます。また、運営上の重要な情報についても、できる限り職員や保護者と共有し組織全体で取り組む姿勢が望まれます。

### 3、園の経験と専門性を活かした地域の子育て支援の推進を

園は地域の施設として歴史を刻み、地域の高齢者グループと子どもたちが交流したり、職員は地域の廃品回収やお祭りを手伝うなど、地域との結びつきは強く、散歩中にも挨拶を交わし温かい言葉がかけられています。

昨年から一時保育を始めましたが、保育所の専門性を活かした積極的な地域支援は、まだこれからという段階です。少子化とはいえ、公園に行くと多くの親子がいる地域であり、地域のニーズに合わせた子育て支援を、より積極的に進めることが望まれます。

## 評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価  
推進機構が定めた「評価領域」に則っ  
て、記載しています。

### 1、人権の尊重

- ◇ 保育の基本理念は、「生きる力を育てます」とし、子どもを尊重したものとなっています。
- ◇ サービスは、基本方針「基本的な生活習慣をつけ、集団の中で“元気な体・考える頭・愛する心”を育てます」に沿って実施されています。
- ◇ 守秘義務については守られていますが、個人情報の取り扱いについての園としてのガイドラインは無く、今後の整備が望まれます。
- ◇ 虐待の定義については、職員が研修を受け、全職員に周知され、関係機関と連絡の取れる体制ができています。家庭支援が必要な場合には、丁寧に関わり支援を行っています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 0、1歳児には保育士が一对一でしっかり関わり、抱っこやおんぶでスキンシップも多く、安心して過ごしています。2歳児になると、2、3人のグループで遊べるようになり、保育士が入って仲立ちをし、遊びを発展させています。
- ◇ 園庭が無いこともあり、毎日散歩に出かけ、2歳児になると往復1時間は軽く歩けるように育っています。
- ◇ 乳児期は友達や保育士に関わりたいたいという気持ちが育つ時期なので、1人で過ごす場所はあえて作っていませんが、午睡の準備や遊びのために、仕切りやついたてを使って年齢にふさわしいコーナーを作っています。
- ◇ 近くの2つの保育園とは交流保育をしており、また、公園に出かけたときは、地域の子どもたちとも一緒に遊んでいます。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 年間指導計画、月間指導計画、週案、日案を作成し、必要に応じて見直しています。0、1歳児だけでなく2歳児にも全員の個別指導計画を作成し、子どもの個々の発達の状況に応じて変更と見直しをしています。
- ◇ 特に配慮が必要な子どもを積極的に受け入れており、受け入れに関しては職員会議で話し合い、記録は各個人別の児童票に記載して、全職員が共有しています。
- ◇ 意見箱は、園児が利用する下駄箱の上などの、入れやすい場所に設置されています。また、年度ごとに苦情や要望は記録し、苦情解決委員会に報告し、解決に活かしています。
- ◇ 第三者委員が3名任命されており、保護者から直接苦情を伝えることができます。また、年1回、第三者委員を交えてケガや苦情についての報告をし、アドバイスを受けています。
- ◇ 感染症対策・衛生管理・安全管理などのマニュアルがあり、保育室、トイレ、玄関や階段など毎日担当を決め、こまめに清掃しています。窓や壁も定期的に清掃し、玩具の消毒など全てチェック表で管理を徹底しています。
- ◇ クラス会議などで、指導計画・保育内容について、必要に応じて見直しを行っています。
- ◇ 保護者との懇談会は年4回実施し、クラスの目標や子どもたちの園での様子を伝えると同時に、保護者から家庭での様子を聞き、相談を受けています。

### 4、地域との交流・連携

- ◇ 前町内会長が園の第三者委員を引き受けてくれたり、町内の廃品回収や祭りの準備・片付けに保育士が手伝いに出たり、「明德乳児保育所だより」を回覧板に入れてもらったりと、地域とは積極的に交流を図っています。
- ◇ 地域への子育て支援として、誕生会へ地域の親子の参加を呼びかけ、また、昨年8月からは一時保育を始めましたが、地域住民への子育て支援講座や研修などは、まだ行っていません。

### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ パンフレットや法人のホームページ、室内の掲示などで、保育の理念や保育目標をわかりやすく伝えています。ホームページでは決算報告も公表しています。
- ◇ 園長は区の園長会、市や区の社会福祉協議会、横浜市私立保育園連盟や日本福祉施設士会等を通じて、様々な外部情報を積極的に収集しています。
- ◇ 法人として、5年間の中期計画の策定を行っています。また、外部環境の変化を鑑みて、法人3園をネットワークでつなぎ電子決済システムを導入するなど、次代の組織運営に備えた仕組みを積極的に構築しています。
- ◇ 運営面での重要な改善課題については、職員に情報を周知し、組織全体で取り組める仕組み作りが望まれます。

### 6、職員の資質向上の促進

- ◇ 職員は外部の研修、見学に積極的に参加しており、研修後は報告書を作成し職員会議で報告して、その内容は全職員に周知・共有しています。今後は、研修計画の明文化が望まれます。
- ◇ 今後は、職員に対して、法人としての施設運営の方向性を明示するとともに、幹部職員を含む後継者の計画的な育成プログラムを確立し、個々の職員に明示していくことが望まれます。
- ◇ 実習生の受け入れ担当は主任が行い、マニュアルやしおりもあり、目的に沿った実習が行えるように配慮をしています。今後は、記録の整備を行っていくことが望まれます。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。









「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある


評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念は、「生きる力を育てます」という利用者本人を尊重したものとなっています。</li> <li>・保育の理念や基本方針は玄関、職員更衣室に掲示されており、全職員が理解し実践しています。</li> <li>・サービスは、基本方針「基本的な生活習慣をつけ、集団の中で“元気な体・考える頭・愛する心”を育てます」に沿って実施されています。</li> <li>・保育計画は基本方針に沿って作成され、保護者の就労状況にも配慮しています。</li> <li>・年度初めのクラス懇談会では、保護者に保育計画が説明されています。</li> <li>・保育士は日々の様子から子どもの意思を汲み取り、指導計画の作成と見直しに活かしています。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所面接シートに記載された子どもの様子は全職員が把握しており、日々の保育に活かしています。</li> <li>・子どもが安心して過ごすため、心理的に拠り所としている哺乳瓶やおしゃぶりを持ち込むことができます。</li> <li>・連絡帳は1日の様子を記入し、積極的に保護者とのコミュニケーションを図っています。</li> <li>・年間指導計画、月間指導計画、週案、日案を作成し、必要に応じて見直しをしています。</li> <li>・個別面談や口頭で聞いた保護者からの要望や意向は指導計画の評価と改訂に役立てています。</li> </ul>

<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃は毎日適切に行われており、清掃チェック表を活用し、屋内・外は常に清潔に保たれています。</li> <li>・沐浴設備があり、使用後はその都度、消毒するなど衛生に配慮しています。</li> <li>・部屋の一部に畳を敷き、ついたてや可動式の仕切りを利用して、小集団に適した空間を確保しています。</li> <li>・朝夕の時間、土曜保育、お楽しみ会・誕生会などの行事の際には異年齢児交流をしており、1歳児クラスと2歳児クラスは自由に行き来できるようになっています。</li> </ul>
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0、1歳児だけでなく2歳児にも全員の個別指導計画を作成しており、子どもの個々の発達の状況に応じて変更と見直しを行なっています。</li> <li>・個別指導計画の作成と見直しにあたっては、トイレトレーニングの開始時期など重要部分を保護者に説明し、同意を得ています</li> <li>・一人ひとりの子どもの発達状況は、個人ごとに記録され、職員の準備室に置かれていて、全職員が必要なときに見られるようになっています。その管理は主任が行っています。</li> </ul>
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に配慮の必要な子どもを積極的に受け入れています。</li> <li>・受け入れに関しては職員会議で話し合い、その記録は個人別の児童票に記載して、全職員が共有しています。</li> <li>・アレルギー疾患に関する知識や情報は、担任間では共有されていますが、全職員に周知されるまでには至っていません。</li> <li>・文化や生活習慣の違う子どもが在籍しており、クリスマス会の名称をお楽しみ会と変更したり、宗教上食べられない食べ物がある子どもには違う食材を使うなどの配慮をしています。また、文化や生活習慣の違いがあることで特別に変わった対応をする事がないよう、配慮をしています。</li> <li>・日本語でのコミュニケーションが難しい保護者に対してはプリント類にふりがなを付けるなどの配慮をしています。</li> </ul>
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情受け付け担当者は主任、苦情解決責任者は園長と決まっており、入口に掲示されています。</li> <li>・第三者委員が3名選任されており、玄関と各クラスの入口に名前と連絡先が掲示され、直接苦情を申し立てることができます。</li> <li>・年1回、第三者委員を交えてケガや苦情についての報告やアドバイスを受けています。</li> <li>・意見箱は、園児が利用する下駄箱の上などの、入れやすい場所に設置されています。</li> <li>・年度ごとに苦情や要望は記録し、解決に活かしています。</li> </ul>

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃは保育室のコーナーの棚に配置され、子どもが自由に取り出しやすく、写真も貼ってあるため、片付けやすくなっています。</li> <li>・子どもたちが落ち着いて遊べるよう、畳・マット・仕切りでコーナーを作っています。</li> <li>・乳児のみ（0、1、2歳児クラス）の保育で、生活面を丁寧に行い、毎日散歩に出かけるために、充分遊びこめる時間は少なくなっていますが、節目節目で歌を歌い、絵本を読む時間のほかは、子どもが自由におもちゃを出して遊べるようになっています。</li> <li>・公園で子どもたちのやりたいことを聞いたり、0歳児にも歩くかバギーに乗るかを選ばせたりして、子どもの意思をなるべく聞き取るようにしています。</li> <li>・毎日の散歩の中で、自然と接し、工事現場や乗り物を見たりして地域生活に触れ、出会う人たちとも挨拶を交わして温かい言葉をかけてもらっています。</li> <li>・日々の保育の中で多くの手遊びや歌を聞いて育っているので、自由遊びのときでも自然に歌ったり、手遊びをやったり、絵を描いたり、紙の切り貼りなどして、自由に表現ができています。</li> <li>・0、1歳児には保育士が一对一でしっかり関わり、抱っこやおんぶでスキンシップも多く、安心して過ごしています。2歳児になると、2、3人のグループで遊べるようになり、そこに保育士が入って仲立ちをし、遊びを発展させてしています。</li> <li>・おもちゃや場所の取り合いでけんかになることもありますが、必ず保育士が入って子どもの気持ちを聞き、または代弁して、言葉で「貸して」と言えるように指導しています。</li> <li>・園庭が無いこともあり、毎日散歩に出かけています。2歳児になると往復1時間は軽く歩けるように育っています。</li> <li>・運動面では、0歳児は這う、歩く、よじ登るなど全身を使った遊びをやり、後半になるとボールを追いかけて遊んでいます。1歳児も走ったり、階段の登り降り、2歳児は鬼ごっこやボール遊びを取り入れています。夏はプール遊びも行っています。</li> </ul>



- 1 保育内容[生活]



- ・食事の量は前もって食べきれる量を盛り付け、ゆっくり食べる子には最後まで食べることができるようにしています。嫌いなものも何度も声をかけながら食べられるように援助していますが、どうしても食べられない場合は残すことができます。
- ・授乳も、子どもの生活リズムに合わせ、抱っこして行っています。
- ・2歳児の食育として、梨の皮むきを栄養士が見せたり、子どもたちがマーガリンをぬったり、のりをちぎって青菜にまぶしたりして調理に関わっています。
- ・食事は薄味で、野菜が多く、よく煮込んで素材の味を引き出すように工夫し、季節にあったものを出しています。
- ・食器は陶器を使い、2歳後半からは、子どもが使いやすい六角の箸を使い始めています。
- ・保護者には献立のポイントや食の情報を提供し、毎日の食事を展示するほか、保育参加の際に保護者が試食できるようにしています。必要な場合は個別の栄養指導も行っています。
- ・午睡に入るときは、絵本を読みオルゴールで音楽を流し、SIDSを防ぐために6ヶ月未満児は5分おき、それ以上の子どもは10分おきに、息をチェックしています。
- ・節目節目で全員にトイレに行かせるほか、一人ひとりの排尿間隔を把握していて声かけをしています。
- ・トイレトレーニングは、保護者と連携をとり、個々の状況に合わせて始めますが、時に健康状態によって見合わせるなど柔軟に行っています。

- 2 健康管理・衛生管理・  
安全管理 [健康管理]



- ・健康管理マニュアルがあり、看護師が、子ども一人ひとりの出生から現在までの健康情報をパソコンで一元管理し、継続的な健康管理を行っています。
- ・朝の受け渡し時に、保護者が睡眠・朝食・体温などを記した健康カードを保育士に手渡して、子どもの状況を確認しあっています。
- ・健診結果は記録し、結果は保護者に通知し、必要があるときは医師に相談するよう伝えていきます。
- ・感染症マニュアルがあり、保育中に発症した時は保護者に通知し、すぐに迎えに来られないときは看護師が看ています。
- ・感染症が発生したときは速やかに玄関や保育室に掲示をし、保護者に周知しています。訪問調査の日にも「インフルエンザが流行っています」の張り紙が見やすく掲示されていました。

- 2 健康管理・衛生管理・  
安全管理 [衛生管理]



- ・衛生管理マニュアルがあり、見直しが行われています。
- ・保育室とトイレ、玄関や階段など毎日担当を決めて、清掃を行っています。窓や壁の清掃も定期的に行い、玩具の消毒なども全てチェック表を活用して、管理を徹底しています。
- ・トイレで子どもの排泄にかかわるときは、色の異なるエプロンを使用し、おむつ替えシートは一人終わるごとに消毒し、毎日洗うなど、保育士と看護師の努力で感染症予防などの衛生管理が徹底して行われています。

- 2 健康管理・衛生管理・  
安全管理 [安全管理]



- ・安全管理マニュアルがあり、事故や災害時の対応が記されています。
- ・全職員が普通救命講習を受講しており、看護師は指導員の資格も持っています。
- ・緊急時に必要な、救急機関や医療機関などの連絡先が電話のそばに掲示され、保護者の緊急連絡網も備えられています。
- ・子どものケガはどんな小さなケガでも保護者に伝え、伝達ノートを使って全職員で共有しています。
- ・かみつきや引っかきが多いときは職員会議で対策を話し合っています。
- ・不審者対策のため、保育士は防犯ベルと笛を常に身につけています。散歩に出かけるときは、それに加えて催涙スプレーも携行しています。

- 3 人権の尊重





- ・子どもには丁寧な優しい言葉で、穏やかに話しかけ、せかすこともしていません。
- ・乳児期は友達や保育士に関わりたいと言う気持ちが育つ時期なので、1人で過ごす場所をあえて作っていませんが、午睡の準備や遊びのために、仕切りやついたてを使って年齢にふさわしいコーナーを作っています。
- ・0歳児ではおむつ替えのときについたてを使っていますが、2歳児はトイレが隣の保育室にあるため、服やパンツを脱いだまま移動する時間が長い場合もあり、考慮が望まれます。
- ・守秘義務については守られていますが、個人情報の取り扱いについての規程はなく、今後の整備が望まれます。
- ・虐待の定義については、職員が研修を受け、全職員に周知され、関係機関と連絡の取れる体制ができています。家庭支援が必要な場合には、丁寧に関わり支援を行っています。
- ・グループ分けでも子どもの好きなテーブルに着いており、散歩の順番なども、性別によって分けたりはしていません。

- 4 保護者との交流・連携






- ・保護者には、パンフレット・ホームページ・掲示板で園の方針を伝え、年度初めには保育目標を説明しています。
- ・全クラスで連絡帳を使って保護者と子どもの様子を伝えあっています。
- ・送迎時に保育士や看護師が、積極的に保護者と話し合い情報交換をしています。
- ・懇談会は年 4 回実施し、クラスの目標や子どもたちの園での様子を伝えると同時に、保護者から家庭での様子を聞き、相談を受けています。
- ・保護者からの相談は、連絡帳や懇談会・個人面談の際に多くは担任が受け、主任や園長の助言も受けています。健康に関することは看護師が受けることもあります。
- ・子どもたちの保育中の写真を撮り、個人別のアルバムを作って卒園時に渡しています。
- ・積極的に保育参加を勧め、保護者は散歩に同行するなどしてクラスの子どもの様子を見ることが出来ます。子どもの歩く距離に驚く保護者もいるそうです。
- ・保護者会はありませんが、在園 3 年目になると保護者同士の連携もよく、園の活動にも協力が得られています。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長が長く住民として地域に関わり、役員もしているために、地域との結びつきは強く、前町内会長が園の第三者委員を引き受けてくれています。保育士が町内の廃品回収を手伝い、夏祭りの後片付けに参加するなど積極的に地域と関わる中で、園への地域からのニーズを把握するようにしています。</li> <li>・関係のある保育園や小学校の先生と、子どもとの関わり方や遊び方などを話し合ったり、幼・保・小のリズム合同研修会に出席したりしています。</li> <li>・地域への子育て支援として、誕生会へ地域の親子の参加を呼びかけています。また、昨年 8 月からは一時保育を始めました。</li> <li>・地域住民への子育て支援講座や研修などは行っていません。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月 1 回の誕生会に地域の親子の参加を呼びかけ、その際に相談も受けその他の日も随時受け付けていますが、実際には相談は、あまりありません。</li> <li>・「明德乳児保育所だより」を年 4 回発行し、町内会に回覧し、一時保育の開始など、地域向けに情報を提供しています。</li> <li>・関係機関の連絡先は掲示していますが、育児に関する情報提供や育児相談は行ってないため、実際の連携は、まだありません。</li> </ul>




## 評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの高齢者グループとは、七夕や敬老会などで、園児が作った笹飾りや手作りのクッキーやプレゼントを持っていったり、また、園に招待してハーモニカ演奏をしてもらったりして交流を深めています。</li> <li>・毎日の散歩では地域の人たちと挨拶や言葉を交わし、「かわいいね」など優しい言葉をかけてもらい、温かい交流が行われています。</li> <li>・近くの2つの保育園とは交流保育をしており、また、公園に出かけたときは、地域の子どもたちとも一緒に遊んでいます。</li> <li>・地域の行事は土日に行われることが多く、園児が参加するまでには至っていません。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすいパンフレットや、園のホームページにより、広く園の情報を提供しています。</li> <li>・利用希望者には常時対応し、見学も保育に差し支えない範囲で希望に応じています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの受け入れ担当は主任と決めており、マニュアルもあり、常に募集をしていますが、実際にボランティアを希望する人がいないため、受け入れや説明などの機会がありません。</li> <li>・実習生の受け入れ担当は主任が行い、マニュアルやしおりもあり、目的に沿った実習が行えるようにしていますが、記録の整備までには至っていません。</li> </ul>

## 評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児のみということもあり、毎年、途中入園の子どもが多く、受け入れに備えて、人員配置の見直しと人材の補充が行われています。</li> <li>・職員は各自「求められる職員像・自己チェックシート」を記入し、目標設定とその結果を園長と話し合っています。</li> <li>・職員は外部の研修、見学に積極的に参加しており、研修後は報告書を作成し職員会議で報告して、その内容は全職員に周知されています。</li> <li>・非常勤職員は常勤勤務経験者で、フリーの保育士として常勤職員との十分な連携のもと業務を行っています。</li> <li>・新人・中堅・スーパーパイザーの育成に関する人材育成の計画がありますが、明文化するまでに至っていません。</li> <li>・研修の担当者は決まっていますが、研修計画は明文化されていません。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は職員会議・クラス会議において、日常の保育の課題について話し合い、サービスを見直し、それを個々の職員のスキルの問題として自己評価を行っています。</li> <li>・職員会議や勉強会では、保育技術について話し合い、資質の向上を図っています。</li> <li>・コーナー保育の導入において、外部の講師を招き助言や指導を受けるなど、保育技術の向上に励んでいます。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員に求められる期待水準が明文化されています。</li> <li>・保育士は入園希望者の面接を任されるなど、責任ある業務についています。</li> <li>・職員からの業務改善案は職員会議で話し合い、日々の保育に活かしています。</li> <li>・園長は日常の話し合いの中で各職員の満足度を把握しています。</li> </ul>

## 評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・守るべき法・規範・倫理等については、全国保育士倫理綱領を1・2階に掲示し、職員に周知徹底を図っています。</li> <li>・園の沿革、保育目標、決算報告等の経営情報が、園のホームページで公開されています。</li> <li>・節電・節水を心がけ、こまめに室内の電源やエアコンのスイッチを切って省エネルギーに努めていますが、環境配慮の考え方を目標・方針に組み込むには至っていません。</li> </ul>
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の理念、基本方針を保育室内に掲示し、職員会議でも周知徹底しています。</li> <li>・重要な意思決定にあたり、保護者や職員に説明し、幅広い意見を集約・検討する機会を設けることが望まれます。</li> <li>・主任は担任クラスを持たずフリーとし、職員全員の業務全体を把握し、必要に応じて補助に入っています。また、普段から個々の職員に合わせて指導・助言を行い、相談にもなっています。</li> <li>・主任クラスを計画的に育成するためのプログラムを確立し、個々の職員に明示することが望まれます。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長は区の園長会、市や区の社会福祉協議会、横浜市私立保育園連盟や日本福祉施設士会等を通じて、様々な外部情報を積極的に収集しています。</li> <li>・運営面での重要な改善課題については、職員に情報を周知し、組織全体で取り組める仕組みづくりが望まれます。</li> <li>・外部環境の変化を鑑みて、法人3園をネットワークでつないで電子決済システムを導入するなど、次代の組織運営に備えた仕組みの構築を積極的に行っています。</li> <li>・法人として、5年間の中期計画の策定を行っています。</li> <li>・今後は、職員に対して、法人としての施設運営の方向性を明示するとともに、幹部職員を含む後継者の計画的な育成プログラムを確立し、個々の職員に明示していくことが望まれます。</li> </ul>

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2006年 11月 25日～12月 16日
- 2、実施方法 事業者から直接利用者家族に配付(手渡し) 同封の返送用封筒にて評価機関宛、無記名で返送
- 3、回収率 31.6パーセント (配布総数38枚、回収数12枚)
- 4、所属クラス 0歳児3人、1歳児3人、2歳児5人、3歳児1人、無回答0人  
4歳児・5歳児については保育を行っていません。  
同一家族で複数名が園に在籍の場合には、下の園児のクラスについて回答。

### 設問ごとの概要

#### 【問1】保育園の保育目標や保育方針について

75%超の保護者が知っています。更に、“知っている”と回答した保護者のほぼ90%が「目標や方針に賛同できる」と回答しています。  
数値76%は、「知っている」「まあ知っている」を合わせたもの。

#### 【問2】入園する時の状況について

全体として、ほぼ85%超の保護者が満足しています。特に「子どもの様子や生育暦などを聞く対応」は、満足度が非常に高い項目です。また、「見学の受け入れ」について「その他」の回答が30%を超えていますが、これは「見学の希望をしなかった」という回答が多く含まれているためです。

数値85%は、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせたもの。以下同様。

#### 【問3】年間の計画について

「年間の保育や行事の説明」は80%超、「保護者の要望が活かされているか」は65%超の保護者が満足しています。

#### 【問4】日常の保育内容について

「遊び」については、90%弱の保護者が満足しています。特に「園の遊び」、「園外活動」の項目は満足度が非常に高くなっています。

「生活」についても「遊び」同様に80%超の保護者が満足しており非常に高い評価です。特に「こどもが給食を楽しんでいる」、「こどもの状況に応じて対応している」、「体調への気配り」の項目は満足度が非常に高くなっています。その他、「園庭がほしい」と要望する意見があります。

#### 【問5】快適さや安全対策について

全体として、70%弱の保護者が満足していると回答しているものの、その一方では「園舎・園庭などの施設について」、「外部からの不審者侵入に対する備えについて」の項目で40%超の保護者が不満と回答しています。安全対策については、近年の社会情勢も考慮すると、今後、園の対応が望まれます。

数値40%は「不満」「どちらかといえば不満」を合わせたもの。以下同様。

#### 【問6】園と保護者との連携・交流について

全体として、90%弱の保護者は満足しています。7項目中4項目が90%超の満足度と、非常に高い評価で、保護者と職員間の信頼関係が構築されているものと思われます。

#### 【問7】職員の対応について

全体として、70%超の保護者が満足しています。「アレルギー・障がいのある子どもへの配慮」について「その他」の回答が50%となっていますが、これは「よく分からない」「アレルギーなし」という回答が多く含まれているためです。

#### 【問8】総合的な評価について

90%超の保護者が満足しています。

### 結果の特徴

◇ アンケート回収率が約30%と低いため、特徴が出にくい結果となっています。

# 利用者家族アンケート集計結果

実施期間： 2006年 11月25日～12月16日

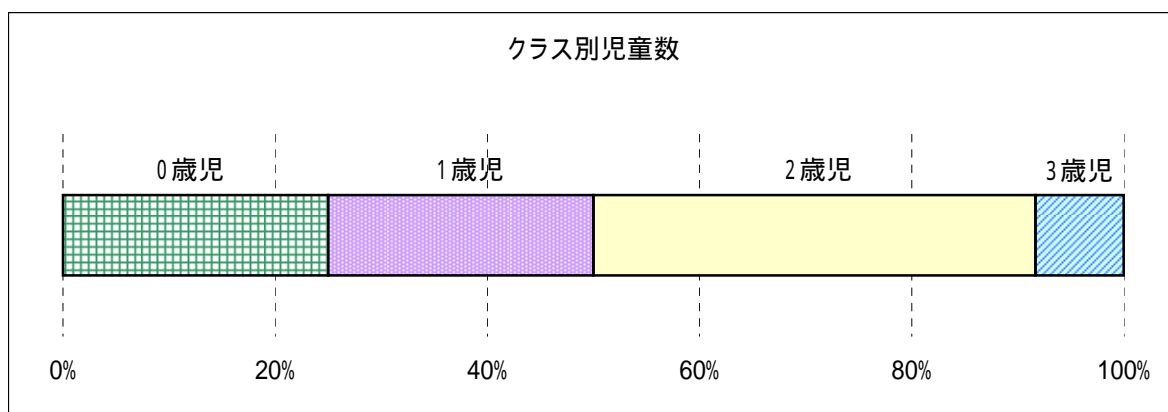
回答率： 31.6% (回答総数 12枚 / 配付総数 38枚)

## 【属性】

クラス別児童数 複数在籍の場合は、下の子どもで記入

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答	合計
3	3	5	1			0	12

0歳、1歳、2歳のための保育のため、4歳児、5歳児は該当しません。





## 保育園の基本理念や基本方針について

### 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

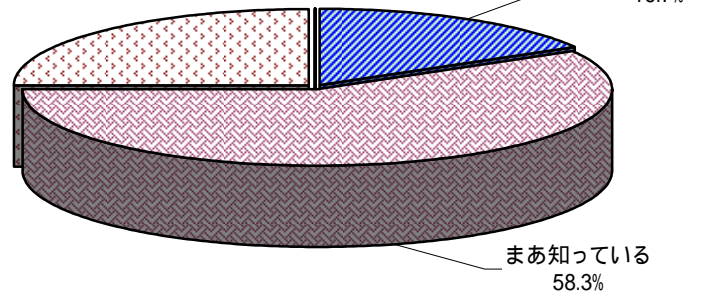
(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	16.7	58.3	25.0	0.0	0.0	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

### 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか

どちらとも言えない  
25.0%



- よく知っている
- まあ知っている
- どちらとも言えない
- あまり知らない
- まったく知らない
- 無回答

「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

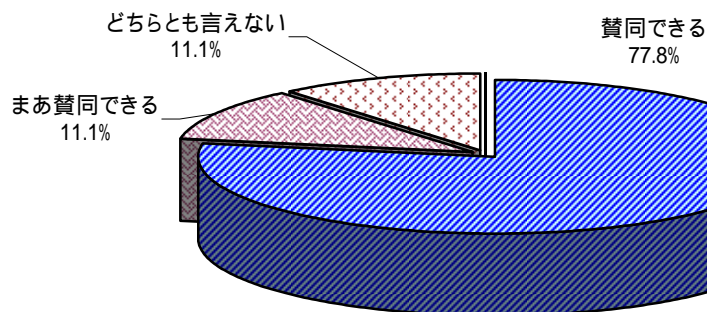
### 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	77.8	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	100

### 保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

どちらとも言えない  
11.1%

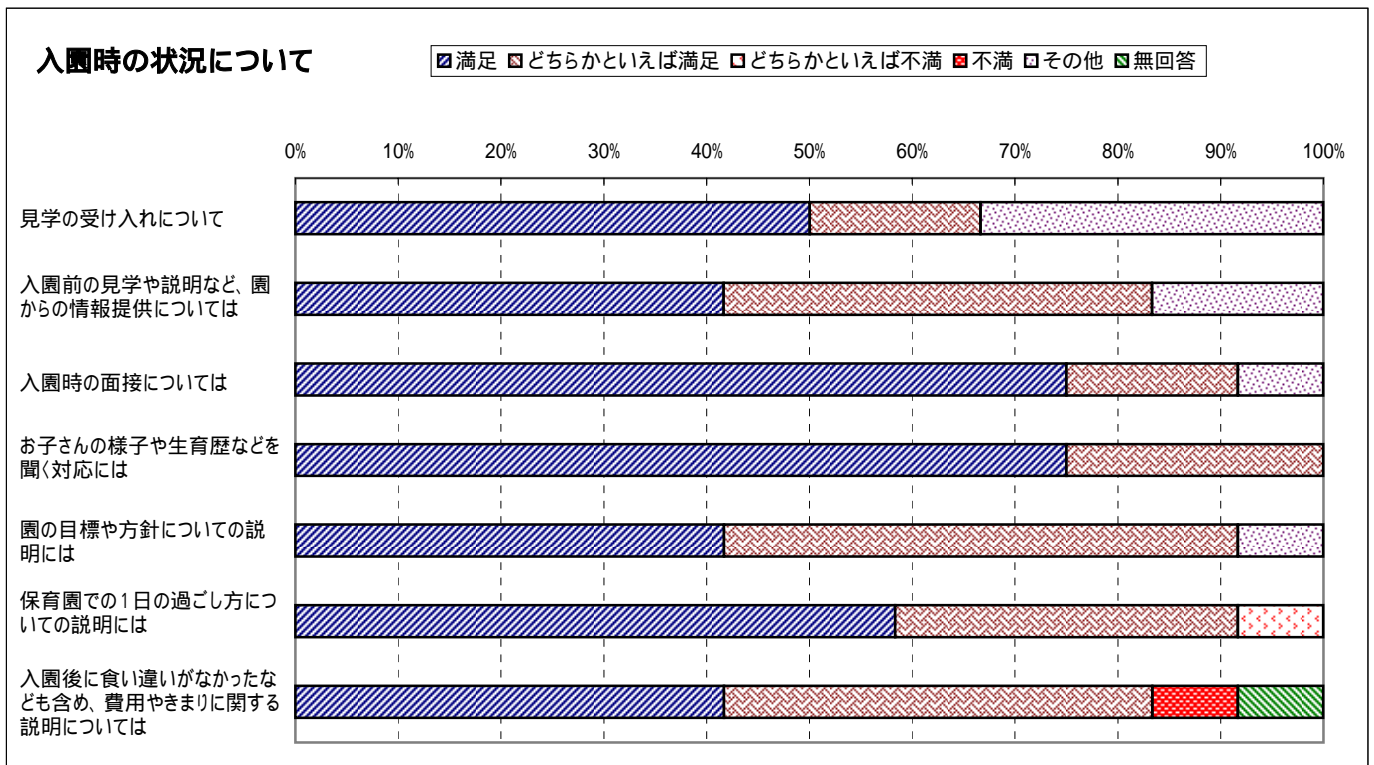


- 賛同できる
- まあ賛同できる
- どちらとも言えない
- あまり賛同できない
- 賛同できない
- 無回答

## 保育園のサービス内容について 問2 入園時の状況について

(%)

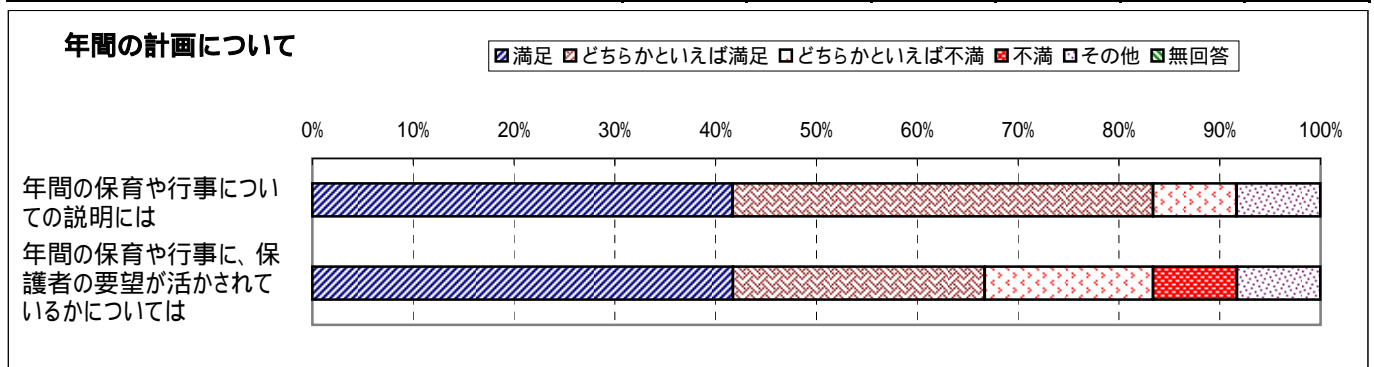
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	50.0	16.6	0.0	0.0	33.3	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	41.7	41.7	0.0	0.0	16.7	0.0	100
入園時の面接については	75.0	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	100
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	41.7	50.0	0.0	0.0	8.3	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	58.3	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	100
入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については	41.7	41.7	0.0	8.3	0.0	8.3	100



## 問3 年間の計画について

(%)

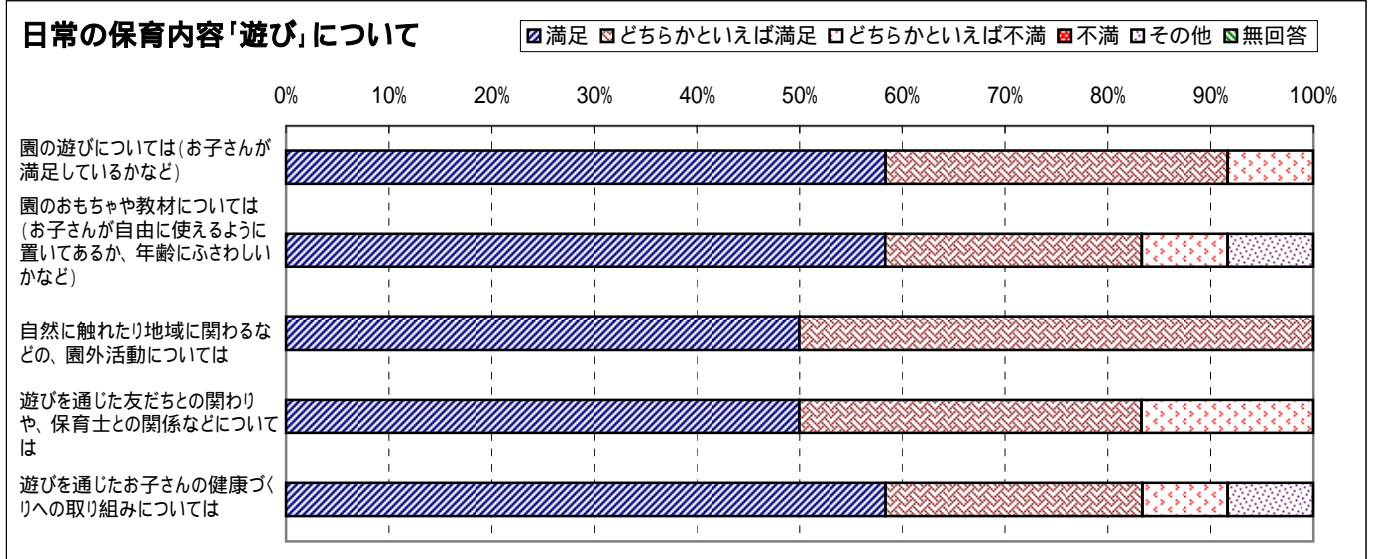
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	41.7	41.7	8.3	0.0	8.3	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	41.7	25.0	16.7	8.3	8.3	0.0	100



#### 問4 日常の保育内容について

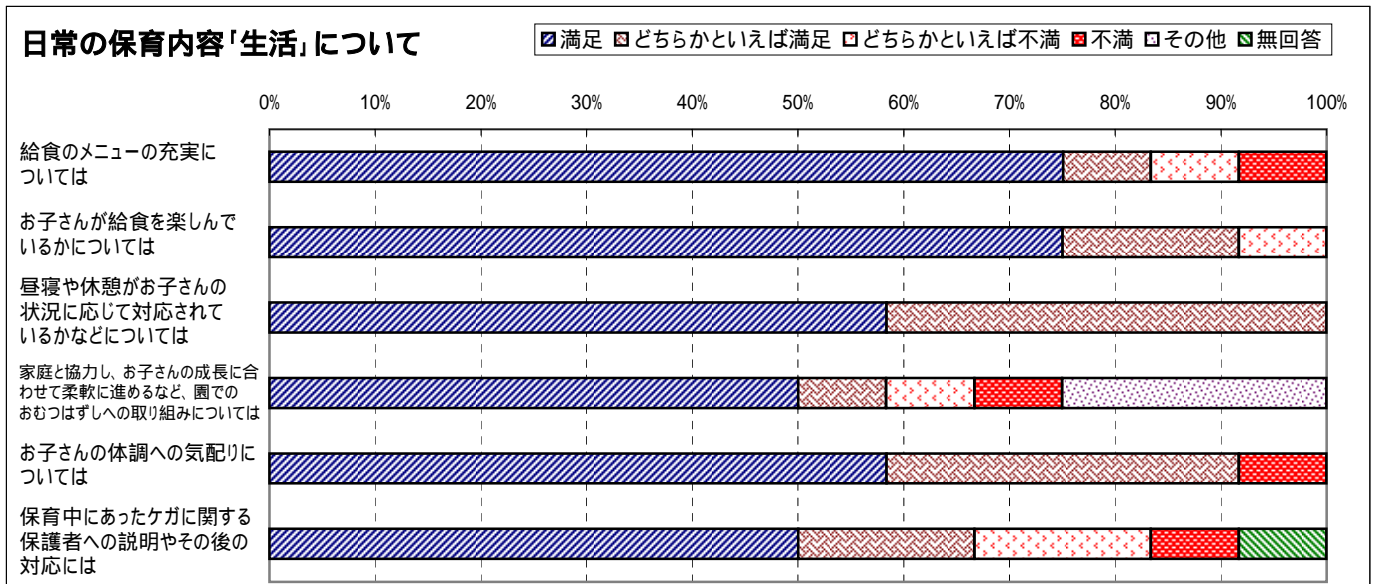
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	58.3	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	58.3	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	58.3	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0	100



(%)

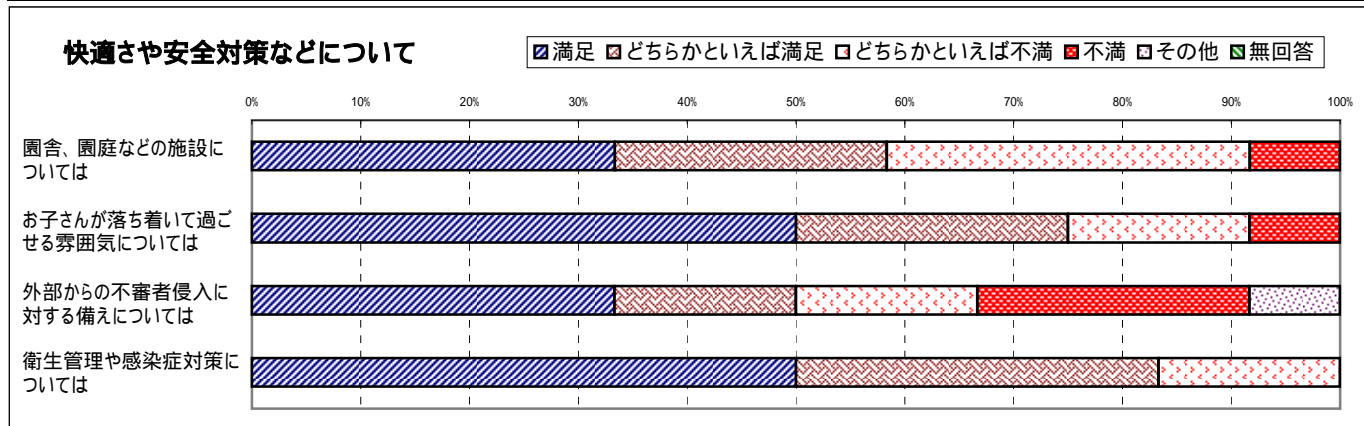
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食のメニューの充実については	75.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	75.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	58.4	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	50.0	8.3	8.3	8.3	25.0	0.0	100
お子さんの体調への気配りについては	58.3	33.3	0.0	8.3	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	50.0	16.7	16.7	8.3	0.0	8.3	100



## 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

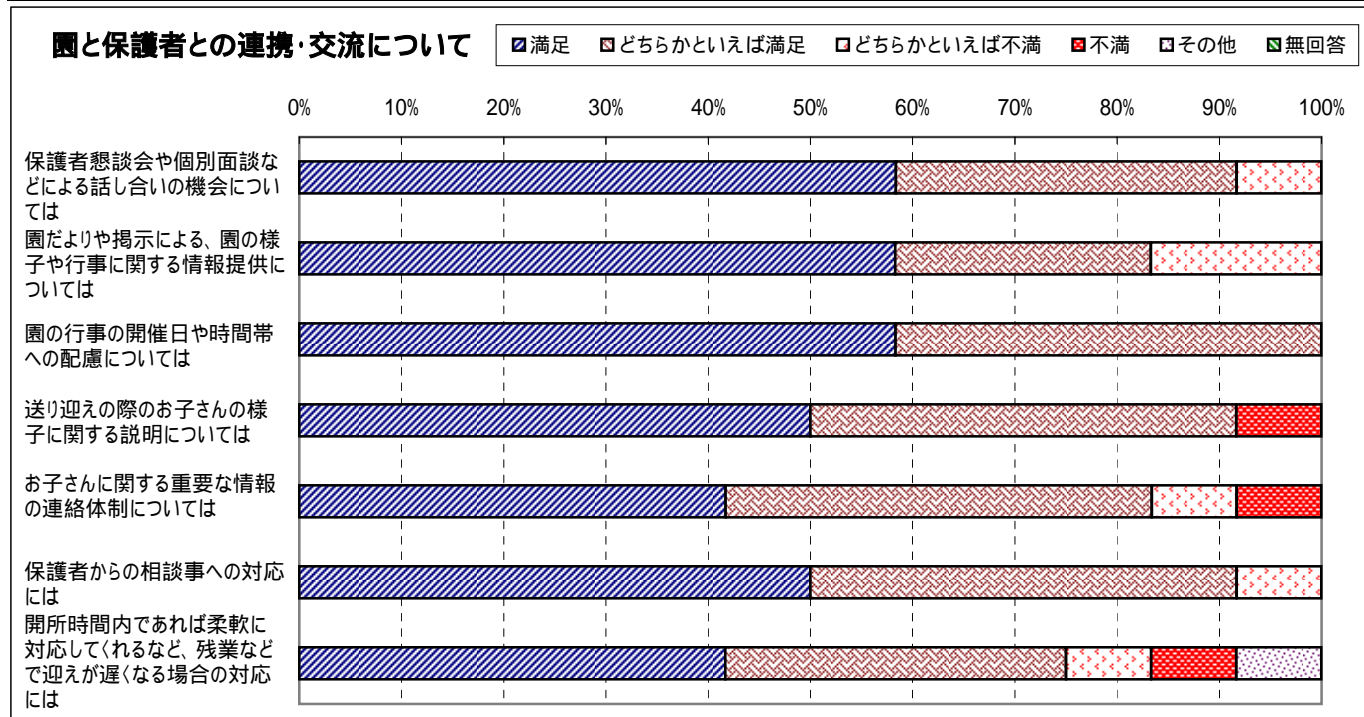
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園舎、園庭などの施設については	33.3	25.0	33.3	8.3	0.0	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	50.0	25.0	16.7	8.3	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	33.3	16.7	16.7	25.0	8.3	0.0	100
衛生管理や感染症対策については	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	100



## 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

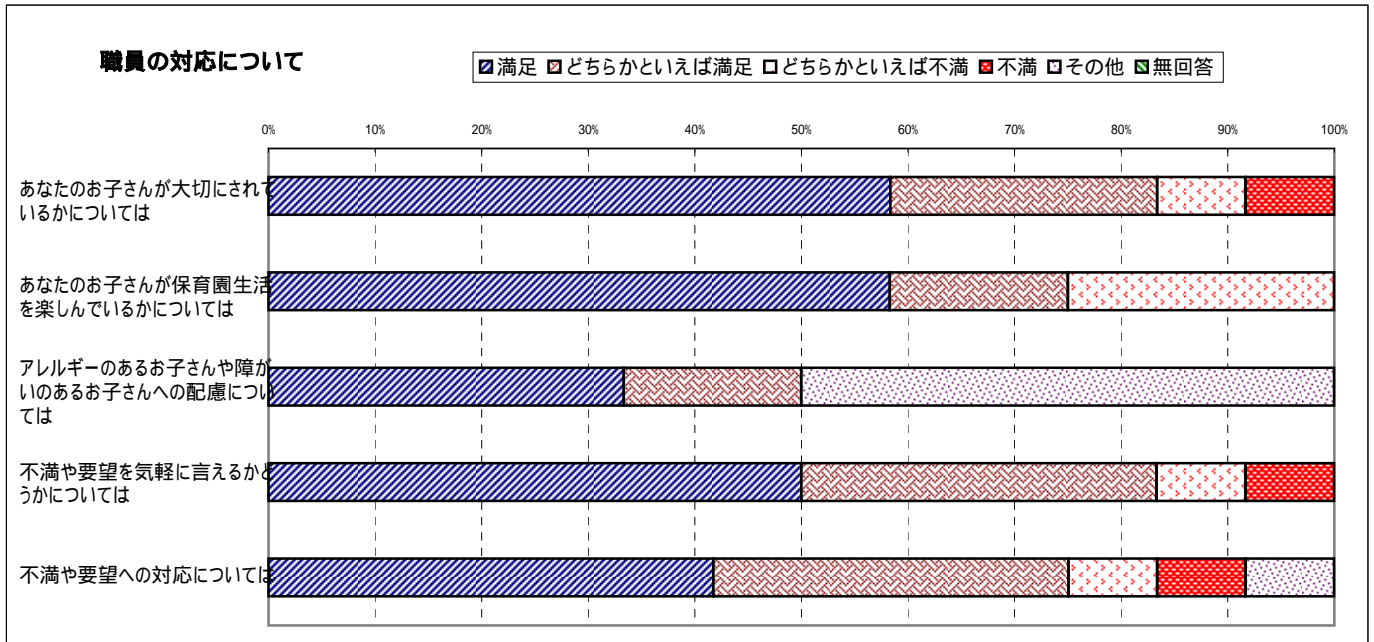
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	58.3	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	58.3	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	58.3	41.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	50.0	41.7	0.0	8.3	0.0	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	41.7	41.7	8.3	8.3	0.0	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	50.0	41.7	8.3	0.0	0.0	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	41.7	33.3	8.3	8.3	8.3	0.0	100



## 問7 職員の対応について

(%)

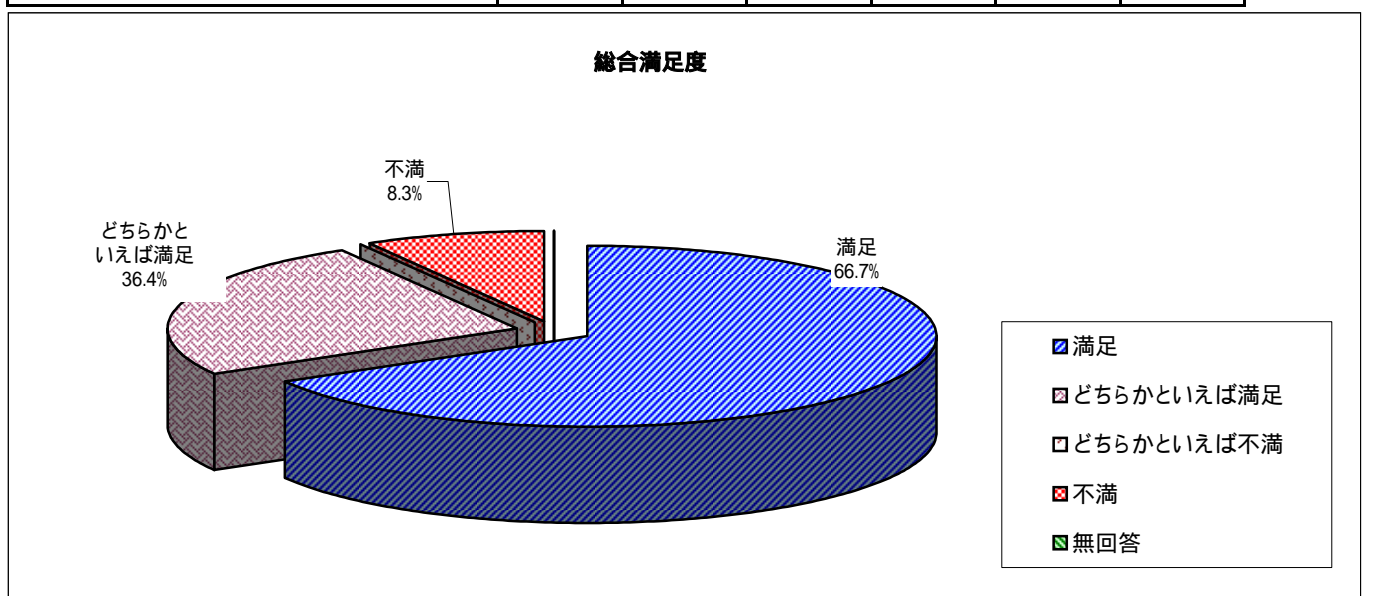
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	58.3	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	58.3	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮については	33.3	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0	100
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	50.0	33.3	8.3	8.3	0.0	0.0	100
不満や要望への対応については	41.7	33.3	8.3	8.3	8.3	0.0	100



## 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	66.7	25.0	0.0	8.3	0.0	100



## 利用者本人調査 分析

観察調査： 2007年2月16日(金) 2月19日(月)

当保育所は0~2歳児の乳児のみの保育を行っていますので、利用者本人の聞き取り調査は実施せず、保育観察のみ行いました。

### 1. 遊びについて

周辺には多くの公園があり、0、1、2歳児クラスとも、雨が降らない限り毎日散歩に出かけています。歩くコースは住宅街や幹線道路沿い、線路沿い、川沿い、高速道路上、高台など変化に富んだ地形で、それらを活かして、歩きながら階段や坂道を登り降りしたり、自然に触れたり、工事現場を見たり、地域の人と交流したり、いろいろな経験をしています。0歳児はバギーに乗ったり自分で歩いたりします。1、2歳児は1時間くらいしっかり歩き、道路では保育士が絶えず声をかけあいながら、手をつなぎ替えながら、安全に気をつけて歩いています。

公園に着くと、保育士がごみや危ないものを拾い、安全を確かめてから、子ども達を遊ばせています。公園のスベリ台などの遊具を使ったり、ボール遊びや電車ごっこ、公園に遊びに来ている親子と一緒に砂遊びをしたり、車の通らないところでかけっこをしたり、園内だけではできない体づくりも行っています。2歳児になると、歩きながらも子ども同士の会話が大変多く、道々で見つけたもの、家族の話、友達の話をして楽しそうに歩いていました。夕方も気分を変えるために散歩に出かけることがあります。

朝や夕方、午睡の前などは保育室の棚に並べてあるブロックや、ままごと、保育士手作りのおもちゃなどを使って自由に遊んでいます。保育士とじゃれあったり、手遊びや絵本を読んでもらったり、折り紙をしたり、雨の日には絵を描いたり、ハサミやのりを使って制作もしています。(訪問した時はフェルトの手袋や、色画用紙を使った雪だるまなどが展示してありました。)2歳児になると、ままごともお互い色々な役になり、ブロック遊びでも複雑なものを作って、続いていました。

朝の会やおやつ・食事の前、午睡前などは保育士に歌や手遊びをしてもらったり、絵本を読んでもらう習慣があり、どのクラスの子どもも集中して見聞きしているのが印象的でした。

### 2. 食事について

0歳児は、保育士が一人の赤ちゃんを抱いて授乳していました。子どもに合わせて食べる量を調節し、離乳食は保育士が1対1で付いて食べさせ、幼

児食は1人の保育士が2、3人の子どもに食べさせたり、自分で食べるのを手伝ったりしていました。また、「ぱっくん」「もぐもぐ」「おいしいねー」「きれいにたべたねー」「先生がちょっとだけお手伝い」など、やさしく声をかけながら食べさせていました。

1歳児は4、5人ずつテーブルにつき、食べる量は前もって調節しています。ほとんどの子どもは自分で食べていますが、保育士が食べ物を寄せたり、スプーンに載せたり、食べやすいように手伝っていました。

「豆まきの豆が入ったポークビーンズよ」「おかわりがあるからゆっくり食べて」「ごはんもう少しがんばって」など、ひとり一人に声をかけています。途中でお皿をひっくり返した子どもにも、やさしく「待ってね」と新しくお皿を持ってきていました。

2歳児の食事はとても静かですが、子ども達は色々な話をしながら楽しそうに食べていました。女の子2人はりんごを「いっせーのーせーで食べよ」と二人そろって食べて笑いあっていました。どのクラスもおかわりをする子がいて、残す子はほとんどいませんでした。

### 3. 排泄について

散歩前後には全員でトイレにいきます。保育士がトイレの外と中で、子ども達に、おしりを拭いたり、

手を洗うことを教えていました。トイレのすぐ外にいる保育士は、おむつをつけてあげたり、自分でズボンをはき終えた子の手伝いをしていました。散歩に出かけるときは、2歳児は各自のおむつを小さなリュックに入れて背負っていき、途中で取り替えてもらう子もいました。公園のトイレで用を済ませた子もいました。午睡が始まった頃、「いつもこの時間に出る」という子に声かけをして起こし、トイレへ行かせて、「出たね！」と褒めていました。

0歳児クラスでおむつを換える保育士は一人に決め、「もう終わるよー、気持ちいいねー」「くん、おしっこしようか」など一人ひとりに声をかけています。紙おむつを使っている子が、「ちっちでた」と教えたので確認し、「くん、ちっち出たの教えられたねーすごいねー」「うわーえらかったねー」と職員全員が褒めて、本人も笑顔になりました。

#### 4. 清潔・健康について

鼻の出ている子に「お鼻ふかせてね」と声をかけてから拭いています。爪が伸びた子には家庭で切ってもらうようにと金曜日にカードで知らせ、月曜日に確認していました。散歩から帰ってきた0歳児は玄関の温水シャワーで一人ひとり抱きあげて手を洗わせていました。

食後の歯磨きは自分でやった後保育士が仕上げをしていました。食事が終わったあとは、保育士が片付けとともに部屋の掃除をし、清潔な環境で寝るようにしています。

健康面では昨年8月に看護師が入ってから見直しを始めました。冬にノロウイルスが流行ってからは、トイレ用のエプロンに着替え、ゴム手袋、消毒の方法・手順なども全員で徹底するようになりました。歯ブラシは殺菌庫を導入し、毎日使用しています。おむつ替え用マットは使うたびごと消毒し、さらに毎日洗うこと、など徹底するようになりました。

#### 5. いやな思いへの対応や権利を守ることについて

1歳児クラスになると自己主張が出てきて、子ども同士、意見がぶつかることが多くなります。おもちゃの取り合いも多くなり、「貸してって言うてみたら」と保育士が仲立ちをしたり、どうしても一方がゆずらないときは、他のものに目を向けさせて解決しています。友達にいやなことを言われていた子は「いやだ」とはっきり伝え、保育士も口を添えて、やめさせました。

2歳児クラスで順番の取り合いをしている子ども達には、「話し合っごらん」と自分たちで解決できる方向に仕向けていました。

#### 6. 職員について

散歩の途中は、保育士は絶えず安全に留意し、「車通ります」「自転車通ります」など声を出して伝えあっています。0歳児には「おしっこ出るかな」「ズボンはくよ」「今日のごはんは何かな」など、常に笑顔で言葉を沢山かけています。場面が変わるときには、部屋を常に清潔に保てるよう掃除を行い、遊びの後始末、食事の準備、寝る準備と、常に子どもたちが快適に過ごせるように環境を整えています。

0歳児、1歳児は、よく抱っこやおんぶをされていて、とても安心して過ごしています。保育士が前に座って手遊びや絵本を読むと、子ども達は集中して静かに聞いています。保育士が「隣(のクラス)が寝ているから小さな声でね」と言うと、皆本当に小さな声になります。

保育士は、送迎時はできるだけ保護者に話しかけ、子どもの話をして関係づくりに努めています。

#### まとめ

子ども達は乳児期の大切な時期、しっかり保育士に守られ、大事にされています。沢山の言葉をかけてもらい、また、一人ひとり気持ちを汲み取ってもらい、必要なときは優しく抱っこされています。子ども達は保育士に絶対の信頼を寄せ、保育士もそれに応えています。

## 事業者意見

明德乳児保育所

### 『第三者評価を受審して・・・』

この度、第三者評価を受審するにあたりまず行った事は、保育を見直す事・第三者評価を知る事からでした。はじめは評価されるということに、戸惑い苦勞しましたが自己評価をしていく中で、保育の質を高めると捉えるようになりました。

毎日、保育に追われながら日々を過ごし、当たり前のように思っていた事を職員全員で確認し、意見を出し合い明文化をしていきました。職員全員が集まって話し合う機会はあまり取れませんでした。書面においての確認やマニュアルの改正見直しで統一を計っていきました。評価項目一つひとつに対しても様々な見解があり、マニュアルが無くても通じていると思っていた事でも、周知されていなかった事もあり、再確認の大切さを感じました。他にも保育分野のみでなく、職員全員が経営や運営などにも関わっていかねばならないと感じました。

そして第三者評価の受審を通して改めて「保育」を見直し、共通認識する事で、一致団結するよい機会となりました。

今後は頂いた評価をもう一度見直し、取り入れるべき課題は改善して、より良い保育所となるよう努力していきたいと思えます。今回、保護者の方々から貴重なご意見を頂く事ができました。また、市民セクターよこはまの皆様には第三者の立場からの意見を頂き、感謝しています。ありがとうございました。